



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 **ゴードン R. マッキナリー**

第2570地区ガバナー **高丹秀篤**
第3グループ
ガバナー補佐 **齋藤栄作**

希望を語ろう We are Rotary, together

第3102例会 2024. 1. 31

—— 職業奉仕月間 ——

天候 晴 (NO. 60-31)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 杉田君、沢辺君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 ☎ 357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎ 357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 沢辺亮一様



【会長報告】

能登半島地震から1か月。日高市は給水車数台と人の派遣を2/1に行うとのこと。谷ヶ崎市長に昨夜飯能JC賀詞交歓会でお会いしました。次年度の根本理事長の挨拶が素晴らしかった。飯能JCは28名。運営も大変そうです。私の頃は70名以上居ました。

2/4飯能RCカップ第34回せせらぎ杯中学生卓球大会は男子24、女子20チームが埼玉、東京、神奈川、千葉、群馬、長野から参加。飯能からは一中、西中、加治中、美杉台中、原市場中の5校。都築委員長はじめ青少年奉仕委員会の皆さんよろしくお願ひ致します。

日曜日、社奉セミナー。高丹ガバナーと一緒に居るだけで楽しくなるような雰囲気、細田(吉)先輩のような方。私の人生の目標であり「どうすれば吉春さんのようになれるのか」「もっているものが違うのかな」と思ったりします。名前の「はる」は同じ「春」なので頑張っていきたいと思っています。

【幹事報告】

飯能LC「ぼんぼり協賛」に協力できる方は次週例会までに事務局にお申込み下さい。桜満開の時には映えると思います。例会後、第4回バスト会長会議。次年度の60周年記念事業、東清州RC創立55周年について。2/7第9回役員理事会。

【委員会報告】

◎第2570地区職業奉仕委員会 前島君
1/26(金)「甦れ2570プロジェクト第1委員会」主催の「大相撲観戦」には地区50RC中28クラブ、総勢138名が参加。マス席観戦の方も多く、入間南の地区役員・西澤正夫さんのお力で盛大に行われ、臨場感溢れる相撲に感動しました。2/18「郷土芸能フェスティバル」入間三宅太鼓を叩く野中さんは入間南所属。市民会館、入場無料です。是非お運び下さい。

【セミナー報告】

◎社会奉仕委員会

加藤君

1/28(日)第2回社奉セミナーに会長と参加。社会奉仕に関する地区内クラブの共同事業の事例発表では「東松山むさし・東松山」河川清掃、「和光・新座」新座駅周辺7キロでポリオ撲滅Tシャツを着てゴミ拾い、「新狭山・狭山中央」環境に関する作文コンクールと、3事業が紹介。その後、LCの330C地区ガバナーとRCと、社会奉仕活動等についてのパネルディスカッション。LCとのコラボ事業は他の参加者にとっても初の経験だそうでした。クラブ間の連携、他団体との奉仕事業の模索がテーマとして取り上げられました。

【出席報告】無届欠席3

大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	53名	82.81%

【M U】

1/26 (東京小石川) 前島君 (地区) 前島君

1/28 (地区) 馬場君、加藤君

【ロータリーの友】

中川雑誌委員

1月号:横組P5、RI会長が戦争を通してロータリーのあり方をお話下さっています。P7、特集「職業奉仕」。P14、シンガポール国際大会へのお誘い。縦組P13「日本人とお米の話~日本酒で乾杯!」。P14、俳壇に日高RC会員の句。P23、国際大会の詳細な案内を是非ご覧になって下さい。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・本日は息子がお世話になります。 沢辺君
- ・沢辺様ようこそ。本日は卓話よろしくお願ひ致します。 細田(伴)君、矢島(巖)君、新井君、高橋君、土屋君、吉島君、吉澤君、伊澤君、加藤君、天ヶ瀬君、小谷野君、岩泉君
- ・いつもお世話になります。入会記念祝い、誕生日祝い、有難うございます。入会28年、73歳になりました。 間邊元幸君

・早退します。吉島君、大野(泰)君
・日高カントリー新年グランドシニア杯で優勝して
しました。半田君
本日計 36,000 円、累計額 571,501 円。
◎ 7 日例会当番は坂本、鈴木(康)会員です。

【卓 話】

講師紹介 伊澤職業奉仕委員長

1974 年 5 月生まれ。沢辺会員のご長男で 5 人兄弟の一番上。早稲田大学を卒業後、民間企業に勤務。02 年、「(株)飯能自動車学校」入社。現在、専務取締役。飯能消防団、飯能青年会議所、飯能商工会議所青年部に所属、今年度会長。趣味は読書、旅行。スポーツは全般的に苦手ということですが観戦はお好きで、西武ライオンズは子どもの頃からのファンだそうです。

飯能商工会議所青年部～現状と課題、その挑戦

飯能商工会議所青年部 会長 沢辺亮一様

今年 50 歳になります。妹が 4 人。妻と娘、息子の 4 人家族。飯能幼稚園、加治東小から早稲田中学校・高等学校に進み、体育以外の成績は良かったので推薦で早大に入りました。地元の友人が少なく、消防団で交友関係が増えていったかなと思います。大学では中国史を学び中国留学も経験したのですがしゃべれなくなってしまったので泰さんにもう一度教わりたい位です。小学校は野球、中・高は地学部で天文、大学はグリーククラブで合唱団と、全部中途半端な感じでしたが、それが現在の趣味に繋がっているかなと思います。「イトーヨーカドー」に 3 年程勤務後、父が市長になった経緯で自動車学校に入社。消防団第六分団・本部でいろんな方とお知り合いになれました。飯能 JC には 8 年在籍。理事長以外の役職は全て経験しました。他に小学校の P T A 会長、現在、飯能地区安全運転管理者協会会長、埼玉県指定自動車教習所協会青年部部長を務めています。

今年度「飯能商工会議所青年部」(飯能 YEG) は副会長を小谷野さん、幹事を岩泉さんをお願いしています。会員数は 74 名。経済人の団体としては大きい方だと思います。4 つの常設委員会、3 つの特別委員会、副会長 5 名の体制。会長に委員会が直結している感じで独裁制のようですが結構楽しくやっています。「定例会」を核にさまざまなテーマで活動。観光協会・中里(忠)会長の講演、中心市街地活性化についてのディスカッション、車椅子の方の経済への影響等についてお話を頂いたりしました。「定例会」以外にまちづくり事業として、飯能まつりで、休憩スペースの設置、初日のサプライズ花火を皆様のご協力で実施できました。また、三菱電機レディスでは子ども向けの見学会を実施。年 6 回発行の広報誌は会議所会報に折込み。SDG s 活動の PR、紙媒体による宣伝も行っています。他に、政策提言の活動や、県連、関東ブロック、日本商工会議所青年部との交流事業を行っています。能登半島地震の募金活動では RC メンバーの方にだいがご協力を頂きました。

4 月からの次年度、県連「ヤングリーダー研修会 飯能大会」が来年 2 / 1 に開催される予定となっております。飯能 YEG として県の事業は初ということで飯能の魅力を県内に発信できればと考えています。次年度、上神谷会長(「かみかみ ya」)、本橋実行委員長を中心に動いていく予定です。

メンバーは 74 名ですが、出席率は 6 割位で、課題となっています。

県連に加盟したのは 15 の YEG 中、飯能は 14 番目(川越 YEG だけ未加盟)。74 名は規模的にも 14 番目位だそうです。

初期の YEG を細田(吉)さんが発展的に解消され、S 48 年「飯能青年会議所」が創設。H 11 年「飯能商工会議所青年部」が創設、現在の吉田(行)会頭が会長になられてスタートしました。H 30 年、県連に加盟。組織の雰囲気が大きく変わってきた経緯があ



ります。他地域と違ってメンバーを取り合うことなく、JC を終わった人が YEG に入るというような、特別な関係があります。県連加盟以降の会長が天ヶ瀬、小谷野、齊藤、岩泉、谷脇さんですが、別の組織ではないかという位、雰囲気が変わりました。小谷野会長の時に組織が整備され、きちんと会議をやったり綱領を言ったり歌ったりする“県連方式”になってきたのですが、コロナ禍で一時活動が抑えられ、昨年振り出しに戻ってスタートした感じになっています。“交流”飲み会がメインだった頃を知っているメンバーからすれば、路線的に「所詮青年部」「JC の二番煎じだから」「楽しければいいんじゃないか」という人も多かったのですが、今は“貢献”とか“組織”に方向性が向いてきているかなと思います。ただ、若干意識の差があり、出席率にも影響しているのかもしれない。

1 万 8 千円というリーズナブルな年会費(親会の商工会議所から予算提供)、総会 2 回と定例会 4 回程度と、金銭的、時間的にハードルが低く、参加し易い状況は大きなメリットだと思っております。

「まだまだ青年」50・60・70 代の方が元気で第一線で活躍されているお蔭で、今の 40 代は昔の 30 代位なのかもしれません。“JC と RC を繋ぐ間としての YEG”と言えるのではないかと考えております。

対外活動が増加し、仲間内で飲んでいるだけでなく地域貢献をもっとやっという、さらに、会員増によっていろんなところで YEG の話題が出て PR され、地域の他団体と積極的に交流がもてるようになってくると「(YEG に) これをお願いしよう」「(充て職として) 委員に出てくれないか」といったお話を頂くようになりました。RC さんのように社会的地位が極めて高く、さまざまな活動がされていて影響力のある団体もあるわけですが、まちづくりに関しては、意識の高い新住民の方が居たり、地元の仲間と飲んでいる“マイルドヤンキー”のような方とかいろんな人達が居る中で、どちらかと言うとマイルドヤンキー寄りだった YEG も結構幅広い分野を押さえられるような性格になってきたと感じます。

今年度「日本 YEG」の会長は初の女性会長で、高松市出身の木村麻子さんです。女性会員は全体の 1 割程を占めています。起業家が多く、懇親会には出なくてもいいという体制を取っているのもより参加し易くなっています。子育てもひと段落した 40 代の女性で、注目を浴びるような雰囲気の方です。

飯能 YEG の女性会員は副会長の石森さん、広報委員長のマージラムさん、山田さんは次年度委員長です。事業をされている方以外にも、保険の営業をされている粕谷さんには理事をやって頂いており、ご活躍を頂いております。

組織的な課題や稼働率の低さではありますが敷居が低く、いろんな地域貢献をするようにもなり、女性が多く入るようになって、可能性を秘めている団体ではないかなと考えております。「YEG の良さって何だろう」と考えますと、形式にとらわれず、行動を重視するということかなと思っています。すぐに「何かやろうぜ」となればとやってみる。そこは良い雰囲気だなと感じています。

一方で、理念を共有したり、組織を整備して、継続的に組織が活躍できるような、飯能の商工業の発展に貢献できるような団体であれば、とも思っております。これからも飯能商工会議所の一翼を担い、未来の飯能を支える人材を育成する飯能 YEG でありたいと考えておりますので、是非皆様のご理解ご協力をお願いしたいと思っております。

繰り返しになりますが、来年度は県の大会が飯能に参りますので是非ご注目を頂きつつ、ご理解ご協力を頂ければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。